

No. 1682

# コスモスの丘

— 山梨県明野村 —

山梨県北巨摩郡明野村では年間日照時2600時間で全国一位という特徴を生かして景色のよい丘の農地に「4月は菜の花、7月はコスモス、8月はヒマワリ」を咲かせて村おこしに利用しています。コスモスは秋の花のイメージですが、ここでは「ポニー」という早咲き品種を導入しています。花づくりに必要な種蒔き、草とり、消毒なども村民のボランティアで行われています。8月中旬のお盆の頃にヒマワリが一斉に咲き丘一面を黄金色のじゅうたんでうずめ観光客の目を楽しませてくれます。今年で3回目を迎えたこの催しも益々人気を呼びそうです。

# 村山内閣誕生

— 自社連立 —

6月25日羽田内閣が総辞職しました。記者会見で羽田首相が「なすべき課題の多さを考えた場合安定した政権づくりが急務、政治的空白をさけるために総辞職を決断した」と表明。社会党の連立離脱から国会での内閣不信任案可決が現実となった情勢を受けての決断となりました。6月29日、会期末の衆参両院本会議で首相指名選挙が行われました。自民・社会・新党さきがけは村山社会党委員長を首相候補に立てれば、新生党をはじめとする連立与党は自民党を離脱した海部元首相を推し両勢力の全面対決となりました。1回目の投票では両氏とも過半数に達せず決戦投票に持ち込まれました。決戦投票の結果村山氏261票で214票の海部氏を上回り首相に指名されました。翌30日、官邸で久保社会党書記長、河野自民党総裁、武村さきがけ代表などと「自・社・さ」三党連立内閣の組閣が始まりました。午後、五十嵐官房長官より閣僚ポストが発表されました。副総理・外務大臣には河野自民党総裁、大蔵大臣には武村さきがけ代表、通産大臣には橋本龍太郎氏、郵政大臣は社会党の大出俊氏と各党の実力者が占めるなか、たった一人の女性閣僚として故田中角栄元首相の長女で衆議院当選1回の田中真紀子さんが科学技術庁長官に抜擢されました。皇居の認証式を終えて初閣議に臨んだ村山首相は「人々の心を映す政治」「開かれた民主的な政治体制の確立を目指す」と訓話のあと恒例のひな段での写真撮影が行われました。自民党と社会党の基本政策のすり合わせをはじめ「自衛隊合憲」に代表される現実路線を打ち出した村山首相にとって実行力と指導力が注目されることになりそうです。

新テレビ有り